

## カービュー マーケットウォッチ (2009年7月)

自動車総合サイト「carview.co.jp」を運営する株式会社カービュー（本社：東京都中央区、代表取締役：松本 基）は、社団法人 日本自動車販売協会連合会が公表する「月間登録台数ランキング」をもとに、日本国内における自動車マーケットの動きを独自分析する。

### 国産乗用車、軽乗用車、輸入車とも下落率が縮小！

09年6月順位	09年5月順位	動向	モデル名	メーカー名	台数
1	(1)	→	プリウス	トヨタ	22,292
2	(2)	→	フィット	ホンダ	13,016
3	(4)	↑	ヴェッツ	トヨタ	9,092
4	(3)	↓	インサイト	ホンダ	8,782
5	(6)	↑	パッソ	トヨタ	7,692
6	(9)	↑	セレナ	日産	6,657
7	(12)	↑	フリード	ホンダ	6,495
8	(7)	↓	カローラ	トヨタ	6,468
9	(5)	↓	ウィッシュ	トヨタ	6,022
10	(14)	↑	ヴォクシー	トヨタ	5,765
11	(10)	↓	ノート	日産	5,670
12	(13)	↑	デミオ	マツダ	5,158
13	(11)	↓	ティーダ	日産	5,154
14	(15)	↑	ノア	トヨタ	4,992
15	(8)	↓	キューブ	日産	4,853
16	(20)	↑	ヴェルファイア	トヨタ	4,446
17	(17)	→	エスティマ	トヨタ	4,086
18	(18)	→	スイフト	スズキ	4,020
19	(16)	↓	クラウン	トヨタ	3,546
20	(23)	↑	マーチ	日産	3,229

※ 社団法人 日本自動車販売協会連合会調べ

※ 輸入車および軽自動車を除く

## カービュー編集部独自の分析

### ■国産乗用車、軽乗用車、輸入車とも下落率が縮小！

特に国産乗用車は 8.8%とマイナスがひとケタ台に

今回は、日本自動車販売協会連合会（自販連）、全国軽自動車協会連合会（全軽自協）、日本自動車輸入組合（JAIA）が発表した6月の販売データからマーケット概況をチェックしていこう。まず輸入車、軽乗用車を含め、国内で販売された乗用車全体では31万9386台で、前年同月比87.8%と11カ月連続のマイナスとなった。ただし、下落率は前月より5.2ポイント減少し、3カ月連続で回復の兆しを見せている。4月から導入されたエコカー減税や新車購入補助金制度といった支援策が着実に実を結びつつあるようだ。

この復調傾向の牽引役となったのは、もちろん「トヨタ プリウス」。すでに20万台に迫る受注を獲得（いまオーダーしても納車は来年3月に間に合うかどうかといった状況）しているだけに、6月は2万2292台（新型のみでは2万1192台）で前年同月比357.8%とダントツの売れ行きに。2位は軽乗用車の「スズキ ワゴンR」の1万6185台だから、その差6107台。プリウスの圧倒的な売れ行きがわかるはずだ。しかし、メーカーごとの乗用車合計を見ると、そのトヨタでさえ10万1101台で前年同月比91.4%。クルマ市場の全体としては、まだまだ厳しい状況が続いている。

輸入車と軽自動車を除く3/5ナンバーの国産乗用車は20万2214台で前年同月比91.2%（日産デュアリスの輸入分含む）。メーカーごとの合計では、「インサイト」や「フリード」が好調のホンダと「アクセラ」をモデルチェンジしたマツダ以外は前年同月比がマイナス。前月は前年同月比94.0%まで復調した日産も、6月は79.8%と落ち込んでしまった。月間ランキングはトップ5まで「プリウス」、「フィット」、「ヴィッツ」、「インサイト」、「パッソ」とトヨタ/ホンダ勢が占め、日産は「セレナ」のみトップ10入り。ニューモデルでは「スバル レガシィ」が3040台（前年同月比133.0%）で22位、「マツダ アクセラ」が2713台（同217.0%）と上位をうかがう勢いなのが注目される。

また軽乗用車は全体では9万9550台で前年同月比82.2%と下落率は1.3ポイント回復したものの、7カ月連続の前年割れ。輸入車（乗用車のみ）は日本メーカー製を含む全体では1万7623台で前年同月比83.0%、海外メーカー製のみでも1万7118台で83.2%と、ともに14カ月連続のマイナスだが、下落率は2.8ポイント減少と、小幅ながら下げ止まり傾向を示す結果となった。

### ■ココも気になる！ その1

各メーカーともハイブリッドカー開発に力を注ぐ！

6月単月で2万台以上売り上げた「トヨタ プリウス」はもちろん、2月に投入された「ホンダ インサイト」も月間販売目標5000台を軽く上回る8782台。月平均でも7200台超と好調な売れ行きだ。この爆発的なハイブリッドカー人気は高級車ブランド、レクサスでも同様で、メインは4月から販売が開始されたプレミアムSUVの「RX450h」だが、ハイブリッドカーがレクサス全体の約半数を占める勢いになっている。

まさにブームともいえるハイブリッドカーだけに、各メーカーともハイブリッドカーの開発スピードを上げはじめた。まず本田は 2007 年の東京モーターショーにコンセプトモデルとして出品されたハイブリッドスポーツ「CR-Z」を来年 2 月に、そして「フィット」のハイブリッドモデルを来年中に販売することを発表。さらに中・大型車用の新しいハイブリッドシステムも開発中とのことだ。マツダも 2010 年代半ばという当初の予定を大幅に早める見通し。また、これまで「i-MiEV」のような電気自動車に力を入れていた三菱もインサイト同様の平行式ハイブリッド（エンジンを電気モーターが補助する方式）を「コルト」や小型 SUV に搭載することを検討しているという。

そしてハイブリッドカーの先駆メーカー、トヨタは 7 月 14 日にレクサスにセダンタイプの「HS250h」を発表したほか、2011~12 年にはヴィッツクラスのハイブリッドカーを投入する予定。さらにヨーロッパでオーリス（ヨーロッパではカローラシリーズのハッチバックモデルとして販売中）ベースのハイブリッドカーを生産するという。21 世紀は本当にハイブリッドカーの時代となるのか、要注目だ。

## ■ココも気になる！ その 2

### 上半期の車名別ランキングでゴルフがトップ

輸入車の販売データを集計している日本自動車輸入組合（JAIA）は通常、メーカーブランド別のデータしか公表しないが、3 カ月ごとに車名別の速報データを発表する。そこで今回は海外メーカー製乗用車の今年上半期、1~6 月累計によるベスト 10 をチェックすることにしよう。

1 位は「VW ゴルフ」で 1 万 851 台（前年同期比 88.5%／前年順位 1 位）、以下、2 位「BMW 3 シリーズ」5994 台（同 63.8%／同 2 位）、3 位「メルセデス・ベンツ C クラス」5346 台（同 70.6%／同 3 位）、4 位「BMW MINI」5312 台（同 76.1%／同 4 位）、5 位「アウディ A4 シリーズ」3104 台（同 114.5%／同 8 位）、6 位「VW ポロ」2901 台（同 48.0%／同 5 位）、7 位「BMW 1 シリーズ」2535 台（同 69.5%／同 6 位）、8 位「メルセデス・ベンツ E クラス」2161 台（同 81.9%／同 9 位）、9 位「アウディ A3 シリーズ」1940 台（同 106.1%／同 16 位）、10 位「メルセデス・ベンツ B クラス」1840 台（同 61.8%／同 7 位）となった。

トップ 3 は順当にゴルフ、3 シリーズ、C クラスのドイツ勢が占めたが、前年同期比はいずれも大幅なマイナス。景気の影響をモロに受けた形だ。ただゴルフは今年 4 月にモデルチェンジしたばかりなので、後半の伸びに期待。8 位につけた E クラスも 5 月にモデルチェンジしたばかりだが、高価格車だけにどこまで売れ行きを挽回できるか要チェックだ。

このほか、A4 が 5 位、A3 は 9 位と、ともにランクアップを果たしたアウディ勢は前年同期比もプラスとなり、絶好調。またベスト 10 圏外だが、「フィアット 500」が上半期 1451 台で 13 位にジャンプアップ。国産車がエコカーブームに沸くなか、イタリア車ならではのデザイン性が人気となったようだ。

上記プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社カービュー 広報担当(pr@carview.co.jp)

tel : 03-5859-6158 fax : 03-5859-6180

---